

分科会 8月6日(土)13:30~17:30 8月7日(日)9時~14時30分

各地の学校・地域で取り組まれた授業実践や研究を交流する場です。

*分科会別レポート一覧は、歴教協のHPおよび『歴史地理教育』2022年7月号に掲載します。

第一テーマ(歴史と現代)

第1分科会 地域の掘りおこし 日本の各地域には、まだまだ知られていない埋もれた歴史があります。それを掘りおこす方法を学び合い、教材化していく努力を続けていきます。	第2分科会 日本前近代 これまでの前近代分科会の成果に学びつつ、小学校から高校までの授業実践や教材研究の報告を通して、豊かな前近代史像認識と授業づくりを中心に議論します。
第3分科会 日本近現代 地域に根ざした歴史研究のあり方、研究成果を教材化する方法、実践を通じ子どもの歴史認識をどう育てるかを考え合います。敗戦77年にもどのような近現代史学習が必要か考え合しましょう。	第4分科会 世界 史料の読解、事象の比較、評価に関わる「歴史総合」の授業づくりを見据えた授業実践が報告されます。前近代・近現代の豊かな歴史認識を獲得し、現代の諸課題とどう向き合うか考えます。
第5分科会 憲法と現代の社会 憲法改悪の情勢を踏まえて憲法学習の在り方を実践的に検討します。高校の新科目「公共」での憲法の扱い方や18歳成人をふまえた主権者教育についても討議します。	第6分科会 思想・文化・文化活動 地域の歴史や文化財の価値を掘りおこしたり、地域で行われてきた活動を新たな視点でその意味を考えながら保存・継承していく活動を報告し合います。
第7分科会 現代の課題と教育 現代社会に存在する、様々な民族・文化の共存と人権問題に目を向けます。 地域の直面しているさまざまな課題から学び、レポート討議を通じて現代の課題を追っていきます。	第8分科会 平和教育 世界戦争の危機に直面しているいま、戦争の歴史を学び、戦争の記憶を受け継ぐこと。戦争、とりわけ核の脅威をわがこととして受けとめるために、全国からの実践を交流し、討議を深めます。

第二テーマ(地域・子ども・授業)

第9分科会 幼年・小学校低学年 コロナ禍で就学前の子どもたちにも制約が課され、小学校低学年の「荒れ」と不登校の増加が懸念されます。自然や他者との関わりから命や多様性の大切さに繋がる実践報告をもとに交流しましょう。	第10分科会 小学校3・4年 初めて社会科学習に出会う子どもたちの期待に応える社会科づくりを考えます。学校や地域の歴史や文化財、また地域が抱える課題をどう教材化して授業を進めるか具体的実践を通して交流します。
第11/12分科会 小5・小6合同分科会 感染症・侵略戦争・環境問題など私たちを取り巻く状況は厳しく、他方で教室には様々な困難を抱えている子どももいます。そんな状況でどのような学習を組織すべきなのか考えたいと思います。	第13分科会 地域の中の子どもたち 子どもたちは、学校外で、どのように過ごしているのでしょうか。学童保育の歴史や現状、地域の子ども会、地域の子育てネットワーク、学校との連携、遊びの文化等の視点から見つめ討議します。

<p>第14分科会 中学校地理 地理学習で何を大切にし、どんな構想で学習活動を組んできたか、戦争や差別、地域格差など、世界や日本の現実を踏まえ、どのような地理学習をすすめていくのかを交流しましょう。</p>	<p>第15分科会 中学校歴史 現代を生きる中学生にとって、歴史を学ぶとはどういうことでしょうか。中学生が切実感を持って学びたい歴史学習とはどんなものかを実践をもとに話し合しましょう。</p>
<p>第16分科会 中学校公民 ロシアのウクライナ侵攻という現実。平和、人権、民主主義を掲げ、未来を形成する主権者を育む中学校で、様々な現実を自分ごととして考え行動する市民をどう育てるか、じっくり議論します。</p>	<p>第17分科会 高校 新学習指導要領が今年度より始まり、今回の改訂で「歴史総合」「地理総合」「公共」という新科目が登場しました。 歴教協の実践の積み上げをもとに新科目の可能性について探ります。</p>
<p>第18分科会 大学 本年度の分科会では、昨年に続いて現在の学生に不足している歴史と現代社会とのつながりについて意識させる授業方法や、高校学習指導要領改訂に伴う教職課程の内容検討をテーマとします。</p>	<p>第19分科会 障がい児教育 特別支援教育でも、ICT 機器の導入が進み、機器の活用を考えながら教育実践が展開されています。 本来大切にされていることを継承しながら実践を展開できるか、可能性を考えます。</p>
<p>第20分科会 父母市民の歴史学習 市民との歴史学習をどう進めていったらよいかを討議していきます。 新しい視点での歴史学習や戦争展・平和学習、日本国憲法にかかわる報告などが出され、熱い討議がされています。</p>	<p>第21分科会 社会科の学力と教育課程 社会科の理論と実践を通して、児童・生徒が獲得する知識や形成していった認識について論議します。また、どのような内容と方法で計画され、実践されたのかを丁寧に検討していきます。</p>
<p>第22分科会 授業方法 「子どもが考え活動する授業実践」・「子どもが成長する授業とは」の2つの柱に沿い、参加者目線に立って意見を交流します。小中高の実践がまとめて聴け、例年学生や若手にも好評です。</p>	<p><u>分科会レポートのダウンロードについて</u> 7月28日の申込み切期限までに大会参加申し込みをいただいた方は、大会報告レポートを、8月1日よりダウンロードすることができます。</p>

地域に学ぶ集い 8月6日(土) 18時00分～19時30分

1 満蒙开拓青少年義勇軍と教育の責任

飯田市歴史研究所調査研究員 原 英章

内容 なぜ長野県は全国一多くの青少年義勇軍を送り出したのかという問題意識のもとに、史料や体験者の証言に基づいて、義勇軍とは何か、また送出における学校教育や行政の果たした役割についての研究成果を報告します。

2 満州黒川开拓団の悲劇をどう語り継ぐか

元黒川开拓団員 安江 菊美/
遺族会会長 藤井宏之/岐阜新聞記者 大賀 由貴子

内容 岐阜県加茂郡黒川村(現白川町)から「満州」に移住した黒川开拓団は、敗戦後現地人から身を守り、食料を確保するためにソ連兵に若い女性を「性接待」に差し出しました。これまで隠されてきたこの事実を伝えようと努力されている方々の証言をうかがいます。

中国強制連行・強制労働と万人坑（人捨て場）

平和を考え行動する会 青木 茂

3 内容 中国を一方向的に侵略した日本は、日中 15 年戦争の間に中国本土（大陸）で 4000 万人の中国人を強制労働させ、過労・飢え・事故・虐待などで 1000 万人を死亡させました。その主要な加害者は日本の民間企業です。日本ではほとんど認識されていないこの侵略犯罪について皆さんと一っしょに考えましょう。

4 次代に語り継ぐ四日市公害 四日市再生「公害市民塾」伊藤 三男／小学校教諭 早川 寛司

内容 四日市公害を次の世代にどう語り継いでいくべきか。四日市再生「公害市民塾」を運営し四日市公害の語り部として活動している伊藤さんと、四日市公害を子どもたちに伝え考えさせている小学校教員の早川さんが語ります。

5 災害碑が語り伝える命のメッセージ

三重県歴史教育者協議会委員長 新田 康二

内容 3.11 以降、地域の地震・津波のモニュメントを掘り起こし、約 350 基の石碑を確認し、さらに洪水碑など、約 250 基を確認しました。その後、科研費〈基盤研究 B〉で近畿地方の悉皆調査に取り組んでいます。石碑に刻まれた先人の思いを紹介します。

6 朝鮮通信使、尾張をゆく

緑区の歴史を学ぼう会元会長 堀崎 嘉明

内容 「朝鮮は最も近い隣国、善隣が道理である」とは、徳川家康の外交哲学。江戸幕府はその考えのもと秀吉の侵略戦争による俘虜人送還を約束、朝鮮王朝と国交を樹立しました。こうして派遣された朝鮮通信使、その善隣交流（平和的交流）の姿を尾張路の旅に見ます。

7 黒羽清隆に学ぶ社会科授業づくり

静岡県歴史教育者協議会 松井 秀明

内容 黒羽清隆の歴史教材をどう授業づくりに役立てたかを指針に、わたしの実践例（高校）「袋井にやってきた疎開児童たち—東南海地震との関わり—」を授業風に紹介します。近年軽んじられている「導入・展開・まとめ」と「たのしくわかる」を土台に、「学びの深化」を示したいと思います。（現地対面開催時のみ実施となります）

8 教科書問題

内容 ①高校新科目「世界史探究」「日本史探究」の特徴と検定結果。強化された教科書検定について検証します。②「歴史総合」スタート。リレートーク方式で各地から報告し、学校現場の課題を明らかにします。

9 日韓交流 — 新しい中学世界史の授業

歴教協日韓交流委員会／韓国・長谷中学校 チャンゴフ 金芝暎 キンジヨン

内容 韓国では、2018 年に改訂された教育課程 [指導要領] により、韓国史の他に世界史の教科書がつくられることになり、2021 年から中学世界史の授業が本格化しました。そこで、教師はどのように授業を進め、生徒はどのように学んだのかを紹介します。

10 日中授業交流 — 南京での授業交流の発展をめざして

歴教協日中交流委員会

内容 今年は日中国交回復 50 周年の記念すべき年です。日中交流委員会は、南京の高校と授業交流を続けてきました。今年は日中交流の歴史を遡り、古代における列島と大陸に関わる実践例を、オンラインを活用して、ご報告いただきます。授業内容やその特徴などを皆さんと学びたいと思います。

現地見学

〈企画〉歴史教育者協議会／〈旅行企画・実施〉富士国際旅行社

◆受付締切は、**7/15** (金) です。各コースの募集は大会参加者を優先し、定員に達し次第締め切ります。定員枠に余裕がある場合には現地見学だけの参加も受け付けます。受付状況は歴教協 HP でお知らせします。見学箇所は諸事情で変更することもあります。今後のご案内でご確認ください。

※右の数字は、定員〈最少催行人数〉旅行代金

Aコース 満蒙開拓平和記念館と平岡ダム 20<10>34,500円

8月7日16:00 大会会場出発→飯田市着、「ホテルルートイン飯田」着、割烹「小鈴」(夕食)。
8月8日8:45 宿泊先→9:00 満蒙開拓平和記念館見学→平岡ダム関係遺跡見学、ダムと中国人慰霊碑→昼食→連合国捕虜収容所(天竜中学校校庭)、捕虜犠牲者慰霊碑、発電所慰霊碑、火葬場跡、天龍村なんでも館(悪天候の場合)14:45 天龍村発→伊賀良りんごの里バス停16:00 解散→東京方面または名古屋方面へそれぞれ高速バス、→20:15 新宿バスターミナル着(別途4,400円※料金変動あり)、→18:35 名鉄バスセンター(別途2,500円※料金変動あり)

Bコース 松代大本営と無言館・肢体不自由児たちの学童疎開 28<20>35,500円

8月7日15:30 大会会場出発→19:30 長野市着、ホテルルートインコート篠ノ井。(夕食) 8月8日8:30 宿泊先→9:00 松代大本営地下壕見学→11:00 上山田ホテル、女将より肢体不自由児たちの学童疎開の話聞く(昼食)→13:30 無言館見学15:00→15:30 J R 上田駅着または16:45 松本バスターミナルにて解散

Cコース 郡上一揆と郡上踊り、奥美濃の文化を訪ねる 25<20>30,900円

8月7日15:30 大会会場出発→17:45 郡上八幡「みはらや旅館」、夕食後19:00~20:15 講話「郡上一揆研究の現状」、20:30~22:00 郡上踊り参加(本町、洞泉寺弁天七夕祭)。8月8日8:15 宿泊先→8:45 白山文化博物館一揆関連資料見学・講話→10:50 前谷白山神社、宝暦義民碑など見学→歩岐島騒動の現場、四郎左衛門顕彰碑→(車窓より二日町村伝兵衛宅・墓など見学)→12:20 那留(昼食)→14:10 美濃善光寺、日露戦争兵士人形→14:50 美濃まちなみ巡検→15:20 美濃和紙あかりアート館→15:50 自由散策16:30→J R 岐阜駅17:15 解散

Dコース 輪中に生きた人々の生活をたどる 20<15>9,300円

8月8日9:00 近鉄長島駅集合→木曾川右岸堤防、輪中と木曾三川を観察→9:15 船頭平間門9:55→10:10 水と緑の館展示室、治水神社(平田鞠負など薩摩義士顕彰の神社)11:20→宙乃台所(昼食)→13:00 勝賀大池公園、洗堰の巨大模型と洗堰跡見学13:30→13:45 大垣市輪中館、輪中生活館見学14:55→15:10 観光・交流館、お土産購入、希望者は「奥の細道むすびの地記念館」見学15:50→J R 大垣駅16:00 解散

Eコース 第五福竜丸事件と浜岡原発を結ぶ

20<15>10,500円

8月8日(前日に掛川まで移動・宿泊をお勧めします) 8:45 J R掛川駅南口集合→10:00 浜岡原子力館見学 12:05 原発東側海岸見学→12:35 なぶら市場(昼食・海鮮料理) 13:30→14:30 焼津弘徳院と久保山愛吉さんのお墓 15:45→J R静岡駅南口着 16:15 解散

Fコース 四日市は、今

25<20>6,500円

8月9日 9:00 近鉄塩浜駅集合→9:30 磯津漁港、漁港と漁村の見学→9:45 鈴鹿川本川河口(車内)→10:00 平和町跡地、第1コンビナートの観察とお話→10:45 七つ屋町、住工混在体感→11:30 ポートビル、第3コンビナート→12:00 大遠会館まぐろレストラン(昼食)→13:00 四日市公害と環境未来館(資料館)見学とお話→14:30 まとめのお話と感想→15:00 近鉄四日市駅解散、JRをご利用の方はそのまま乗車→J R四日市駅 15:05 解散

※Fコースは8月9日実施のため、他のコースとあわせて参加することが可能です。

大会申込みについて

■申込み受付期間

事前申込みは、2022年6月1日(水)～7月28日(木)です。当日受付もあります。参加費が変わります。宿泊・現地見学は7月15日(金)が申込み締切です。

■申込み方法

大会と宿泊・現地見学の申込みは、富士国際旅行社が受け付けます。次の①ウェブ申込み、または②紙媒体での申込みのどちらかでお申込みください。

- ①歴教協ホームページから大会参加申込みページを開いて、必要事項を入力して送信してください。(自動的に富士国際旅行社へ送信されます)
- ②下記、AかBで申込み書類を入手し、富士国際旅行社へFAXまたは郵送にて送付してください。
 - A: このページの「参加申込み書類請求書」で、富士国際旅行社へFAXか郵送、電話で申込書類一式を請求
 - B: 歴教協ホームページの大会参加申込みページから、申込み書類をご自身でダウンロード

申込先 取扱旅行業者: (株)富士国際旅行社(観光庁長官登録旅行業 84号 JATA 正会員)
〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7 ヒューリックみなとみらい11F-4
TEL 045-212-2101 FAX 045-212-2201

※今後の感染状況の拡大によっては、オンライン開催に変更の可能性があります。その判断は6月上旬に行い、決定次第ホームページにて告知し、歴史地理教育7月号掲載の大会チラシをオンライン版に差し替えます。参加費が変更になる場合がありますので、入金は7月1日以降となります。

■申込み後の流れ

1) オンライン申込みの場合

申込確認後、富士国際旅行社が予約確認書と参加票を添付ファイルで送ります。予約確認メールを6月中に受け取った方は、予約確認書記載代金を7月1日～10日に入金してください。確認メールを7月1日以降に受け取った場合は、メールを受け取り後10日以内に入金してください。

2) FAX・郵送申込みの場合

FAXがある方は、富士国際旅行社が予約確認書と参加票をFAXにてお送りいたします。メール及びFAXがない方のみ、郵送にて予約確認書と参加票を旅行社よりお送りいたします。予約確認書を6月中に受け取った場合は予約確認書記載代金を7月1日～10日に入金してください。確認書を7月1日以降に受け取った場合は、確認書受け取り後10日以内に入金してください。

3) 大会当日は、受付で参加票を提示してください。オンライン申込みの場合、参加票をプリントアウトして持参するか、ダウンロードして画面を提示してください。

■大会参加費（事前申込みは割引になっています。）

参加区分	事前参加登録費
会員・教員	5,500円（当日：6,000円）
学生・U25・市民	1,500円（当日：2,000円） ※25歳以下の会員がU25です。
高校生以下無料／学生ボランティア無料（事前登録が必要です）	
*教員退職者は事情の許す限り、会員・教員参加費での申込みにご協力ください。	

■昼食について

8月6日・8月7日は弁当の予約を受け付けます。希望者は、申込書にて申し込んでください。お弁当お申込の方は、大会予約確認書と参加予約票と共に、「お弁当引換証」を旅行社よりお送りします。メールで受け取った方は大会当日プリントアウトして持参するか、ダウンロードしてスマホなどの画面をご提示ください。大会会場最寄のいりな駅周辺には、飲食店・コンビニがあります。

■宿泊について

*宿泊手配を希望される方に、次のホテルを予定しています。

ルートイン名古屋東別院（上前津駅から徒歩4分）

宿泊代金（一人一泊あたり、朝食付）9,500円（シングル部屋）

9,200円（ツイン部屋・一人あたり）

*宿泊設定日：8月5日（金）・6日（土）・7日（日）・8日（月）

*宿泊部屋数に限りがあるので、お早めにお申込みください。お申込みの時点でホテルが満室の場合は代替ホテルをご案内します。

■保育・出張依頼状など

*保育（3～12歳）を予約制で実施します。ご希望の方は、7月15日（金）までに歴史教育者協会へ、電話、FAX、メールまたは郵送でご連絡ください。保育料はお子様1人につき1日5000円です。

*出張依頼状が必要な方は、所属長宛の84円切手を貼った封筒を同封の上、歴史教育者協会へ送付してください。申込みと入金確認後発送します。

■参加の取消（富士国際旅行社より）

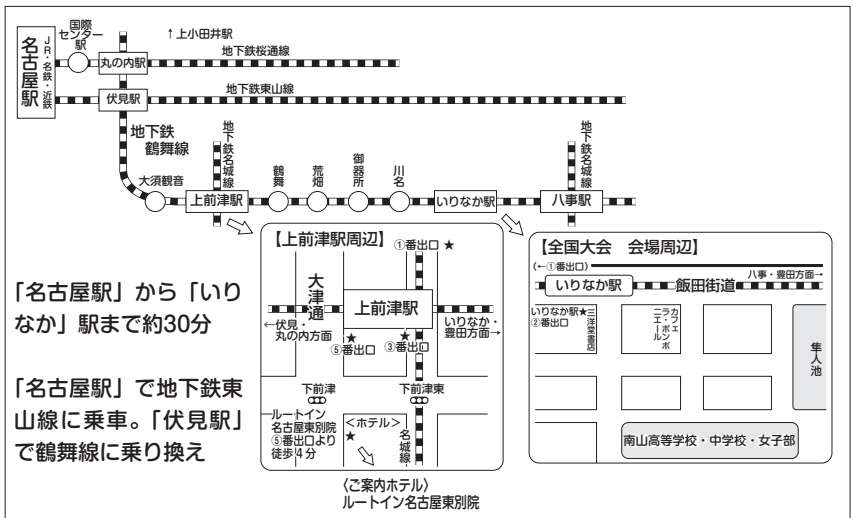
お申込後、お客様の都合により変更・取消をされる場合は、必ずメール、FAXまたは郵送にて、富士国際旅行社にご連絡ください。尚、変更・取消の時期によっては、取消料が発生します。取消基準は、弊社の営業日・営業時間内の受付を有効と致します。取消等による返金につきましては、大会終了後、下記の取消料及び所定の振込手数料を差し引きの上、返金させていただきます。

- *大会参加取消は、7月20日までは、取消料（1,000円）と所定の振込手数料を差し引いてご返金いたします。7月21日以降の取消は、返金できません。資料送付をもってかえさせていただきます。
- *現地見学（1泊2日）の取消は、旅行開始日前日から起算してさかのぼり、21日前までは取消料無料。
- *宿泊プラン・日帰り現地見学は、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって、11日前までは取消料は無料。詳細は「お申込みのご案内」でご確認ください。

■その他

- *大会当日は上履きをご持参ください。校内は土足厳禁です。
- *マスク着用・手洗い・手指消毒・検温等 基本的なコロナ感染対策の徹底をお願いいたします。

■案内図



主催 一般社団法人 歴史教育者協議会 第73回愛知／東海大会実行委員会
〒170-0005 東京都豊島区南大塚 2-13-8 千成ビル 歴史教育者協議会内
TEL 03-3947-5701 FAX 03-3947-5790

E-mail jimukyoku@rekkyo.org <http://www.rekkyo.org> → <https://www.rekkyo.org>

後援団体 中日新聞社・名古屋観光コンベンションビューロー

歴史教育者協議会第73回全国大会（愛知／東海）参加申込み書類請求書

お名前	会員 非会員 (○印を)	
ご住所	〒	
(TEL)		